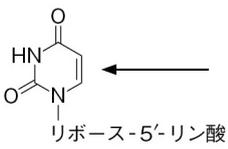
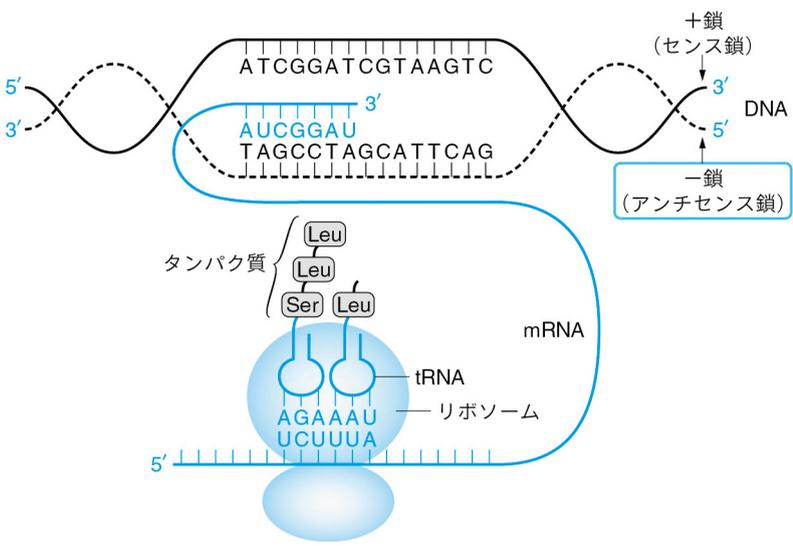


正 誤 表

「コンパス分子生物学-創薬・テーラーメイド医療に向けて」(第2版第1刷)

下記の箇所に誤りがございました。謹んでお詫びし訂正いたします。

(2018.6 榊南江堂)

頁	行・箇所	誤	正
10	図1・9	(UMPの構造式を下図に差し替え)  UMP	
	↑3行目	リボヌクレオチド二リン酸	リボヌクレオシド二リン酸
	↑2行目	デオキシリボヌクレオチド二リン酸	デオキシリボヌクレオシド二リン酸
11	図1・10	リボヌクレオチド二リン酸	リボヌクレオシド二リン酸
47	図3・1	(下図に差し替え) 	
		<b>図3・1 転写(RNA合成)と翻訳(タンパク質合成)</b> 点線のDNAの一鎖(アンチセンス鎖)がRNA合成の鋳型となる。	
50	表3・2	rRNA前駆体(5.8S, 15S, 28S)	rRNA前駆体(5.8S, 18S, 28S)
122	問題5	エキソヌクレアーゼ	エンドヌクレアーゼ

頁	箇所	訂正内容																																																																
145	表 6・2	<p>(下表に差し替え)</p> <p style="text-align: center;"><b>表 6・2 ウイルスベクターの特徴</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ベクターの由来</th> <th>アデノ随伴ウイルス</th> <th>アデノウイルス</th> <th>レトロウイルス</th> <th>レンチウイルス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ベクターの構造</td> <td>一本鎖 DNA</td> <td>二本鎖 DNA</td> <td>一本鎖 RNA</td> <td>一本鎖 RNA</td> </tr> <tr> <td>遺伝子発現</td> <td>一過性・安定(非分裂細胞)</td> <td>一過性</td> <td>安定</td> <td>安定</td> </tr> <tr> <td>分裂細胞への感染</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>非分裂細胞への感染</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>X</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>宿主染色体への組み込み</td> <td>低頻度</td> <td>低頻度</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	ベクターの由来	アデノ随伴ウイルス	アデノウイルス	レトロウイルス	レンチウイルス	ベクターの構造	一本鎖 DNA	二本鎖 DNA	一本鎖 RNA	一本鎖 RNA	遺伝子発現	一過性・安定(非分裂細胞)	一過性	安定	安定	分裂細胞への感染	○	○	○	○	非分裂細胞への感染	○	○	X	○	宿主染色体への組み込み	低頻度	低頻度	○	○																																		
ベクターの由来	アデノ随伴ウイルス	アデノウイルス	レトロウイルス	レンチウイルス																																																														
ベクターの構造	一本鎖 DNA	二本鎖 DNA	一本鎖 RNA	一本鎖 RNA																																																														
遺伝子発現	一過性・安定(非分裂細胞)	一過性	安定	安定																																																														
分裂細胞への感染	○	○	○	○																																																														
非分裂細胞への感染	○	○	X	○																																																														
宿主染色体への組み込み	低頻度	低頻度	○	○																																																														
223	表 8・9	<p>(下表に差し替え)</p> <p style="text-align: center;"><b>表 8・9 わが国で承認されている、がんを対象とした代表的な分子標的治療薬</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名</th> <th>商品名</th> <th>分子標的</th> <th>対象がん</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>イマチニブ</td> <td>グリベック</td> <td>Bcr-Abl</td> <td>慢性骨髄性白血病, GIST, Ph + ALL</td> </tr> <tr> <td>クリゾチニブ</td> <td>ザーコリ</td> <td>Alk 融合タンパク質</td> <td>非小細胞性肺がん</td> </tr> <tr> <td>ゲフィチニブ</td> <td>イレッサ</td> <td>EGFR</td> <td>非小細胞性肺がん</td> </tr> <tr> <td>トラスツズマブ</td> <td>ハーセプチン</td> <td>HER2(EGFR2)</td> <td>乳がん, 進行・再発胃がん</td> </tr> <tr> <td>リツキシマブ</td> <td>リツキサン</td> <td>CD20</td> <td>非ホジキンリンパ腫, MCL</td> </tr> <tr> <td>ベバシズマブ</td> <td>アバステン</td> <td>VEGF</td> <td>大腸がん, 非小細胞性肺がん, 乳がん, グリオブラストーマ, 腎細胞がん, 卵巣がん, 悪性神経膠腫, 子宮頸がん</td> </tr> <tr> <td>セツキシマブ</td> <td>アービタックス</td> <td>EGFR</td> <td>大腸がん, 頭頸部がん</td> </tr> <tr> <td>エルロチニブ</td> <td>タルセバ</td> <td>EGFR</td> <td>非小細胞性肺がん, 膵がん</td> </tr> <tr> <td>スニチニブリンゴ酸塩</td> <td>スーテント</td> <td>マルチキナーゼ (VEGF, PDGF など)</td> <td>イマチニブ不応性 GIST, 腎細胞がん, NET</td> </tr> <tr> <td>ラパチニブトシル酸塩水和物</td> <td>タイケルブ(経口薬, カベシタピンと併用)</td> <td>HER2</td> <td>トラスツズマブ非応答性・HER2 陽性乳がん</td> </tr> <tr> <td>ソラフェニブ</td> <td>ネクサバル</td> <td>マルチキナーゼ (VEGF, PDGF など)</td> <td>腎細胞がん, 肝細胞がん, 甲状腺がん</td> </tr> <tr> <td>ダサチニブ</td> <td>スプリセル</td> <td>Bcr-Abl</td> <td>CML(第一選択はイマチニブ), Ph + ALL</td> </tr> <tr> <td>パニツムマブ</td> <td>ベクチビックス</td> <td>EGFR</td> <td>進行・再発大腸がん</td> </tr> <tr> <td>クリゾチニブ</td> <td>ザーコリ</td> <td>Alk と Eml4 などとの融合タンパク質</td> <td>非小細胞肺がん</td> </tr> <tr> <td>ボルテゾミブ</td> <td>ベルケイド</td> <td>プロテアソーム</td> <td>多発性骨髄腫, MCL</td> </tr> </tbody> </table> <p>GIST：消化管間質腫瘍, MCL：マンテル細胞リンパ腫, Ph + ALL：フィラデルフィア染色体陽性急性性リンパ性白血病, NET：神経内分泌腫瘍, CML：慢性骨髄性白血病  より完全なリストは、がん分子標的治療学会のニュースレター (<a href="http://jamttc.umin.jp/nl.html">http://jamttc.umin.jp/nl.html</a>) 「承認された分子標的抗がん剤一覧」でみる事ができる。</p>	薬剤名	商品名	分子標的	対象がん	イマチニブ	グリベック	Bcr-Abl	慢性骨髄性白血病, GIST, Ph + ALL	クリゾチニブ	ザーコリ	Alk 融合タンパク質	非小細胞性肺がん	ゲフィチニブ	イレッサ	EGFR	非小細胞性肺がん	トラスツズマブ	ハーセプチン	HER2(EGFR2)	乳がん, 進行・再発胃がん	リツキシマブ	リツキサン	CD20	非ホジキンリンパ腫, MCL	ベバシズマブ	アバステン	VEGF	大腸がん, 非小細胞性肺がん, 乳がん, グリオブラストーマ, 腎細胞がん, 卵巣がん, 悪性神経膠腫, 子宮頸がん	セツキシマブ	アービタックス	EGFR	大腸がん, 頭頸部がん	エルロチニブ	タルセバ	EGFR	非小細胞性肺がん, 膵がん	スニチニブリンゴ酸塩	スーテント	マルチキナーゼ (VEGF, PDGF など)	イマチニブ不応性 GIST, 腎細胞がん, NET	ラパチニブトシル酸塩水和物	タイケルブ(経口薬, カベシタピンと併用)	HER2	トラスツズマブ非応答性・HER2 陽性乳がん	ソラフェニブ	ネクサバル	マルチキナーゼ (VEGF, PDGF など)	腎細胞がん, 肝細胞がん, 甲状腺がん	ダサチニブ	スプリセル	Bcr-Abl	CML(第一選択はイマチニブ), Ph + ALL	パニツムマブ	ベクチビックス	EGFR	進行・再発大腸がん	クリゾチニブ	ザーコリ	Alk と Eml4 などとの融合タンパク質	非小細胞肺がん	ボルテゾミブ	ベルケイド	プロテアソーム	多発性骨髄腫, MCL
薬剤名	商品名	分子標的	対象がん																																																															
イマチニブ	グリベック	Bcr-Abl	慢性骨髄性白血病, GIST, Ph + ALL																																																															
クリゾチニブ	ザーコリ	Alk 融合タンパク質	非小細胞性肺がん																																																															
ゲフィチニブ	イレッサ	EGFR	非小細胞性肺がん																																																															
トラスツズマブ	ハーセプチン	HER2(EGFR2)	乳がん, 進行・再発胃がん																																																															
リツキシマブ	リツキサン	CD20	非ホジキンリンパ腫, MCL																																																															
ベバシズマブ	アバステン	VEGF	大腸がん, 非小細胞性肺がん, 乳がん, グリオブラストーマ, 腎細胞がん, 卵巣がん, 悪性神経膠腫, 子宮頸がん																																																															
セツキシマブ	アービタックス	EGFR	大腸がん, 頭頸部がん																																																															
エルロチニブ	タルセバ	EGFR	非小細胞性肺がん, 膵がん																																																															
スニチニブリンゴ酸塩	スーテント	マルチキナーゼ (VEGF, PDGF など)	イマチニブ不応性 GIST, 腎細胞がん, NET																																																															
ラパチニブトシル酸塩水和物	タイケルブ(経口薬, カベシタピンと併用)	HER2	トラスツズマブ非応答性・HER2 陽性乳がん																																																															
ソラフェニブ	ネクサバル	マルチキナーゼ (VEGF, PDGF など)	腎細胞がん, 肝細胞がん, 甲状腺がん																																																															
ダサチニブ	スプリセル	Bcr-Abl	CML(第一選択はイマチニブ), Ph + ALL																																																															
パニツムマブ	ベクチビックス	EGFR	進行・再発大腸がん																																																															
クリゾチニブ	ザーコリ	Alk と Eml4 などとの融合タンパク質	非小細胞肺がん																																																															
ボルテゾミブ	ベルケイド	プロテアソーム	多発性骨髄腫, MCL																																																															